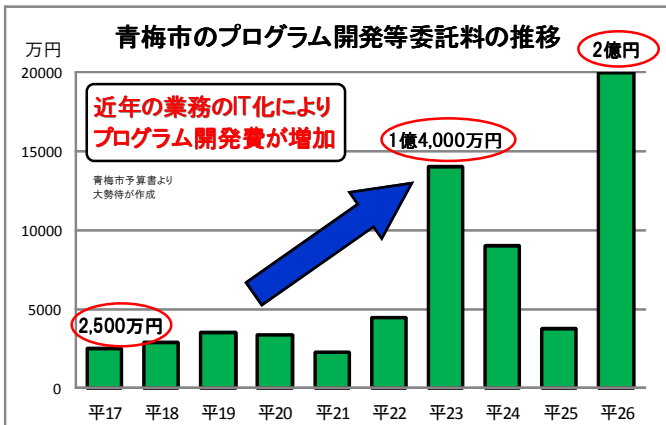


青梅市議会議員

おおせまち 大勢待としあき 39才



青梅市のITシステム経費の削減へ



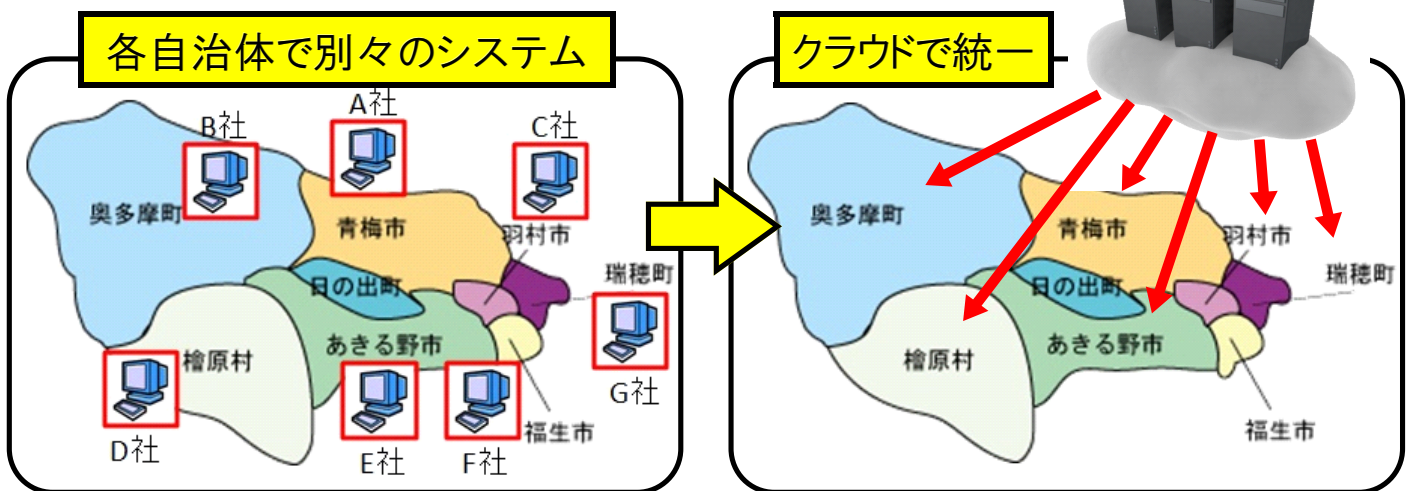
青梅市のプログラム開発等委託料が直近の10年間で、2,500万円から2億円へと約8倍に増えています。

もちろんIT化による業務の効率化は

重要なことです。しかしIT化それ自体の経費が大きくなっていくことは非常に問題です。例えば、経費を削減するために、近隣の自治体で、各々に採用しているITシステムを統一して共同利用を図るなど、今後の対策の検討が必要な状況になっています。

【プロフィール】

1975(昭50)年4月27日生
 ねむのき幼稚園
 青梅市立若草小学校
 青梅市立霞台中学校
 都立立川高等学校
 青山学院大学経済学部
 立教大学院社会学研究科
 元IT企業社員
 現・中央大学客員研究員
 青梅市議会議員(1期目)



例えば、図書館の情報システム、施設予約管理システムなど、比較的似通った業務に関しては、西多摩広域行政圏で連携して、システムを共同開発し、共同運営の道を検討することが必要です。その結果、各自治体が個々で負担していたシステム経費を大幅に削減できる可能性があります。